

#ゼミを語ろう ●九州大学法学部 南野森ゼミ（憲法）：頭を鍛え世界を広げるゼミで、圧倒的成長！

河北，佐那子
九州大学法学部

<https://hdl.handle.net/2324/7391556>

出版情報：法学セミナー．798，pp.2-3，2021-06．NIPPON HYORONSHA

バージョン：

権利関係：The pdf file cannot be copied and printed due to the publisher's policy.



#ゼミを語ろう

●九州大学法学部 南野森ゼミ(憲法)

頭を鍛え世界を広げるゼミで、圧倒的成長！

活動内容

南野ゼミは、毎週、憲法に関する様々なテーマで報告・議論を行っています。最初は4人程度でのグループ報告、その後は個人報告です。

テーマ選択から資料集め、レジュメ作成まで基本的に報告担当の学生だけで行います。個人報告は全てを1人でやる必要がありますが大変ですが、自由度が高く自分の興味関心に従って考察できるのでその分やり甲斐があります。テーマは憲法に関連してさえいればよく、統治行為論や規制目的二分論など有名論点を詳しく掘り下げるものもあれば、選択的夫婦別姓制やブラック校則など近年話題のテーマもあり、幅広いです。宇宙戦争と憲法9条などというテーマで個人報告がなされたこともあります。

報告を聞いた後は様々な質問や意見が飛び交い、先輩・後輩関係なしの熱い議論が繰り広げられます(1時間程の延長もしばしばです)。

メインイベント

南野ゼミは課外活動も大変充実していますが、ここでは、2つの大きな企画だけを紹介します。

①**ディベート合宿**——慶應、一橋、早稲田の憲法ゼミと合同で、10年以上続く企画です。問題と合憲・違憲の立場が事前に決められ、本番までにチームの基本的な方針(立論)を考え、相手チームの反論を予想し対策を練ります。勝敗のカギとなるのが、事前準備とチームの団結力です。約1か月前から準備を始め、本番前日は睡眠時間を削って自チームの主張の守り方や

相手チームへの攻め方を徹底的に考えます。

12人・3チームで参加した2019年の戦績は、1勝1敗1引分けで、過去ほとんど負け知らずだった南野ゼミにとって悔しい結果となりましたが、この企画を通してひと回り大きく成長でき、他大生の知己も得られ、またゼミ生同士の絆も深まったと思います。

②**東京研修旅行**——2日間、官公庁や法律事務所、民間企業等を訪問します。訪問先は、ゼミ生の希望をふまえ、先生が卒業生やお知り合いを頼りに、秀逸にアレンジしていただきます。「井の中の蛙」になりがちな九大生にとって、この企画もまた、大いに世界を広げてくれるものとなっています。

2019年は、宮内庁、最高裁判所、総務省、国会、NHK、全日空に行きました。宮内庁・皇居では、偶然ですが大嘗宮も見学できました。最高裁では判事に直接お話を伺えましたし、国会では多くの議員と懇談させて頂きました。一般には非公開の所を見せて頂くことも含め、数々の貴重な体験をさせて頂きました。

また、総務省、NHK、全日空では、職員・社員の方にお会いして、仕事の内容だけでなく仕事に対する姿勢や想いも伺え、公務員志望の人も民間志望の人も、自分の将来を考える上で視野が広がったように思います。

そして、夜にはゼミ卒業生とのコンパも開かれました。公務員や法曹、民間企業等様々な職種先輩方との、勉強や就活の話、他愛のない話は、とても楽しく有意義でした。多様な職種の気さくで後輩思いの卒業生が多数おられることも、南野ゼミの魅力だと思います。

先生のキャラクター

南野先生は、ゼミ中は学生が自由に発言できるように、基本的に聞き役に徹しておられますが、報告者が返答に詰まったり、理解が追いついていない学生がいたりすると分かりやすく解説してくださり、私たちが重要なポイントを見逃している時は報告者に質問することでより深い方向へ議論を導いてくださいます。

そして南野先生の魅力といえば、なんといつでも学生との距離が近いところです。先生は、講義や研究、会議に加え、新聞・雑誌、テレビ・ラジオ等のメディア出演や各地での講演など、幅広いフィールドで活躍されている偉大な方なのですが、私たち学生とも積極的に交流の場を設けてくださいます。最近ではコロナ禍のせいで難しくなっていますが、ゼミ終了後にはよく飲み会が開かれます。参加は自由ですが、法律や政治関連の真面目な議論から柔らかい話題までなんでもありで、いつもとても盛り上がります。ゼミがない日でも、先生の「飯食う人～」のツイートを合図にゼミ内外の学生が集まることもあります。南野先生は、時に厳しく時に優しく、いつも私たち学生のことを真剣に考えてくださっていると思います。授業や試験のせいで厳しいイメージがあるかもしれませんが、ゼミではとても優しいです。



2020年度卒業式（2021年3月24日）

後輩（読者）へ向けて

南野ゼミでは、憲法学の学修を通じて「強い頭」を作ることを一番の目標にしています。報告・議論の中で、講義では得られない深い憲法の知識や考え方を学べるのは当然です。しかしそれ以上に、多くの判決文や論文を事前に読んで上で、自分の主張を分かりやすく伝えるためにレジュメを作ったり、レジュメを補足しながら口頭で発表するなど、読んで考えたうえで「書く」と「話す」の両側面から「伝える」力を養えるのが魅力です。法曹や研究者にならない限り将来憲法の知識を使う機会は少ないかもしれませんが、報告を通して得たこれらの知見は、将来どんな職業に就いても役立つだろうと思います。そのせいか、公務員、法曹、マスコミや民間企業など、南野ゼミ生の進路は多様です。東京研修など課外活動での「出会い」が進路選択の決め手になった人もいます。

南野ゼミは、いわゆる「ラクなゼミ」ではないと思います。実は私も最初は入るかどうか躊躇いました。しかし2年間を振り返ると、大変なこともあった反面、達成感もひとしおで、大いに成長させてもらいました。南野ゼミに入って本当に良かったと思っています。あなたも南野ゼミで学びを深め、様々な出会いを通して世界を広げてみませんか。（文責：河北佐那子）

ゼミメンバー

4年生
青江美智子
井上里桜
大迫力偉
岡部綺乃
河北佐那子
河口綾華
白石優真

3年生
新井 陸
梅田大輔
織笠李樹
仮上峻介
齋藤翔太
高木絢介
田中大稀
西山真世
野口 峻
平野佑花
松枝 響
吉田智代里

記事掲載のご希望と
お問い合わせは
編集部 e-mail アドレス
housemi@nippyo.co.jpまで